

日之影町新庁舎新築設計プロポーザル審査講評

日之影町では、新庁舎建設委員会からいただいた意見や町民アンケート等を総合的に考慮し、また、町民センターの老朽化に伴う耐震性の確保や、図書館機能の充実などの諸問題を解決するため、現町民センター及び福祉館を解体し、その跡地に庁舎と文化施設の複合施設としての役割を担う「新庁舎」を建設するため、新庁舎新築の設計者を選定することを目的に、10者にプロポーザル（技術提案書）の提出を求め、うち4者から提出を受けました。

日之影町新庁舎新築設計プロポーザル選考委員会は、副町長を委員長に、教育長、総務課長等の8名で構成され、事前に定められた評価項目に従い、厳正に審査を行いました。

審査項目は、次のとおりです。

- 1 組織体制
- 2 基本的な考え方
- 3 新庁舎のイメージ
- 4 窓口機能
- 5 防災拠点施設
- 6 事務機能
- 7 町民の憩い、交流
- 8 議会機能
- 9 意匠
- 10 駐車場
- 11 ライフサイクル
- 12 文化振興等
- 13 図書室機能
- 14 生涯学習

今回行ったプロポーザル方式による選考は、設計案を選ぶのではなく、業務に対する考え方や解決方法の提案を求め、業務内容、業務背景に対する理解度、適切性、具体性を審査することにより、設計案を日之影町と協働作業で作り上げるパートナーとして選考しました。

各者の提案内容は、限られた期間の中で、それぞれがこれまでに培ってきた経験や技術力が発揮された素晴らしい内容であり、本プロポーザルに真摯に取り組まれてきたことが十分に感じられる提案でした。

その中でも、最優秀者に選定された「株式会社 綜企画設計」の提案は、複合施設の留意点、防災拠点施設としての業務継続性の確保等が熟慮されるとともに、「まちの拠点」、「まちのランドマーク」、「まちと人を繋ぐ」をコンセプトとし、林業の振興を図り親しみ溢れる施設、機能性が高いコンパクトな施設形態、町民が交流し愛着を持てる文化施設と共有部など、高く評価しました。

更に、新庁舎建設の全体スケジュールを十分に把握され、設計プロセス、的確なコストコントロール及びランニングコストの低減化の取組も高く評価しました。

本プロポーザルに参加を頂いた設計事務所の皆様におかれましては、本業務に対して多大なる責任感と熱意を持って取り組んでいただき、心から敬意を表しますとともに、各設計事務所が一丸となり完成度の高い提案を頂きましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

各社の今後の更なるご発展並びにご活躍を祈念申し上げます。

平成30年8月20日

日之影町新庁舎新築設計プロポーザル選考委員会
委員長（日之影町副町長） 工 藤 裕 士